



もうすぐ6月！お天気はいいけれど、ポーポキはまだ主にステイホームし、自分の安全やまわりの安全に気遣っています。いろいろなマスクを楽しみながら前向きにこの難しい時期を乗り越えようとしています。みんなが元気で安全に過ごしていることを祈っています！



Popoki's Hot News!



Coming up!

(1) 「ポーポキ友情物語活動 in 東北 2020」 オンライン報告会

6月13日 14:00~16:00

参加希望の方はポーポキにメールしてくださいね

(2) 灘チャレンジ！都賀川公園 9月13日 10:00~16:00

<https://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge/cny>

*新型コロナウイルス拡大のため、延期・中止になる可能性があるので、近くになったらFBなどをご確認ください

「一言の平和」コーナー

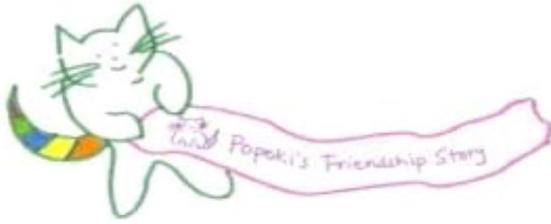
ポーポキのお友だちの siwi にゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「最近、在宅勤務の順番がくる度に平和を感じます。なぜなら、終日子どもたちと一緒に過ごすことができるからです。通勤していると、いろいろなことを見逃していることに気が付きます。例えば、些細な事をきっかけにケンしたり、笑ったり泣いたり話したり成長したりすることです。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !





Popoki's Interview

* 新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、なぎさにゃんとろーれんにゃんのレポートです！

ラオスの話

なぎさにゃん

ラオスに住んでいるなぎさにゃんの友だち、ラッタソーン・ポンマヴォンさんに、ラオスや彼の状況について教えてもらいました。ラオスでは感染者が少ないそうですが、医療体制が脆弱なため、国は万全を期して国境の封鎖や休校といった措置を取っているそうです。

Q1. ラオスの状況について教えてください。

A1. 3月の終わり頃から、海外に出られなくなり、国境も閉まりました。国内便もなくなりました。外出はできますが、県を超えることはできません。海外には行けないけど、緊急の場合（病気など）は行けます。例えばタイに病院に行くことができます（ラオスでは国内の医療体制が整っていないため、重症の場合はタイの病院に行くことが多いです）。タイなどに出稼ぎに行った人は帰ってきて、2週間隔離されたそうです。

Q2. 人々の様子は？

A2. イライラしている印象です。仕事を家でしている場合が多いです。会社やお店が閉まっているので、みんな家にいます。多くの人が電気や水道を使うので、停電とか断水が以前より多く起きています。

Q3. 医療体制について教えてください。

A3. 感染者がまだいない時には、海外から帰ってきた人で、熱や咳が出ている人は、検査を受けることができました。症状がない人はできませんでした。感染者が出てからは、感染者と関わった人しか検査できない状況です。

Q4. コロナウイルスのせいでご自身が変わったことを教えてください。

A4. 仕事がないわけではないが、暇になりました。4月から日本の大学院に留学する予定でしたが、行けなくなった。いついけるか分からないので、とてもイライラする。色々な店が閉まっているから、買い物が大変です。大好きなサッカーや運動ができず、友だちにも会っていません。外出規制を呼びかける警察官が多くいるので、外に行きにくい状況です。

Q5. この状況で見つけたことはありますか？

A5. 毎朝の渋滞がなくなりました。家族と住んでいる人は家族との時間が多くなったりもしていますが、自分は家族と一緒に住んでいないから、特にいいことはないかなと感じていま

す。大家さんが家賃を安くしてくれました。ヴィエンチャン（首都）の人たちの生活は変わるけど、そのほかの県はあんまり変わっていないと思います。ヴィエンチャンではマスクがないと、銀行やコンビニに入れません。

Q6. この状況が終わったら何がしたいですか？

A6. 早く留学に行きたいです。スポーツがしたいし、友だちにも会いたいです。



写真：最近のヴィエンチャンの様子。自粛要請が出ているため、車がとても少ない。

次はローレンにゃん！

Interviewer: Lauren Peng

Interviewee: Tzu-Hao Wang さん

Wang さんの紹介

ワンさんは 25 歳の看護師で、3 年間前から台湾のシュアンホー病院で働いています。大学を卒業してから、大部分の時間は患者の世話をし、月ごとの労働時間は 120 時間を超えています。そして、特に目の前で患者さんが亡くなったのに自分は何もできなかったときは非常に疲れるしトラウマを抱えるけれど、ワンさんは諦めません。できるだけ多くの患者さんを救いたいと、言っていました。

Q: 新型コロナウイルス感染が広がっている間に最悪の経験について教えてください。

私が所属している部門は陰圧隔離病室がありませんが、時々感染が疑われている患者さんを世話することがあります。病室に入る前に十分に準備し、感染を防ぐために毎回防護服を使います。少しでも勇断すると、危険にさらされます。感染が確認された感染者を世話している部門より緊張すると思います。疑われる患者さんは感染しているかどうか分からない状態で逆に不安を感じていました。私が世話した患者さんは様々な検査を受けた結果、新型コロナウイルスではなく、肺結核でした。そして、陰圧隔離病室に移りました。

Q: 病院に対する不安を抱えている患者にはどのように対応しますか？

正直に言うと、我々はみんな病死に怯えているので、不安になるのは当然です。今回の新型コロナウイルス感染症において、この不安になるのが当然という思いは私たちを救いました。数か月前、他の国ではまだ新型コロナウイルスを一般的な風邪だと考えていたが、台湾では既に警告が発令されていました。また、台湾では、新型コロナウイルスの感染者をコントロールするために、政府が大規模な包括的な対策を実施しました。これができたのは、我々の政府機関及び医療システムのおかげです。しかしながら、新聞記事やニュースレポーターは、事実を大げさにする傾向があり、ソーシャルメディアを通じて人々の嫌悪感や憎しみを煽ることをします。私は看護師として、ソーシャルメディアの情報を信じるより、人々が冷静さを保ち、体調管理をしっかりすることを強く願っています。

Q: 政府の看護師として、ウイルスの感染拡大を抑制し、台湾の状況を改善する方法は何だと思いますか？

国境の管理や強制隔離を含めて、台湾は今まで 130 本もの感染予防政策を実施しています。感染者は 500 人以下です。難しい状況の中、よくできたほうだと思います。マスク配布制度によって買いだめを防ぎ、衛生面については周知しています。毎日の 14 時に記者会見が行われ、交通機関でのマスク着用が法律によって義務付けられています。また、受診すべきかを理性的に判断します。感染者が少ない原因は、政府はプロを信頼し、プロは責任を負い、国民は規定を守るからです。防疫チームは毎日全力で台湾を守ろうとしています。前線で働いている私の意見を言うと、防疫チームのメンバーもやはり家族との時間も必要です。最後に、心を込めて防疫チームに感謝します。

Q: あなたにとって、平和の意味は何ですか？ この意味は新型コロナウイルスによって変わりましたか？

私たちに欠けているものは、よい政策ではなく賢明な政治家でもなく、厳しい状況においても批判的な思考と寛容な心を抱える公民です。新型コロナウイルスが起きる前は、どのように平和を定義すればいいのかが分かりませんでした。むしろ定義する必要を感じていませんでした。しかし、この災難では、資源の配分方法から起きる争いを回避することは不可能だと分かっています。新型コロナウイルスに対する最初の措置は、社会の雰囲気大きく影響を及ぼします。今の私にとって平和とは、最悪の状況に置かれていても、人間性の善意を忘れずに行動することです。極めて困難な時期において、憎悪と嫌悪の感情を抑え、他人に対して同情と共感を示すべきです。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 143

今月のテーマは、コアマスル!!!!



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立ちましょう！手を遠くへ伸ばしながら、下半身を動かさずに上半身で大きな円を描きましょう。右回りも左回りもしてね。
 3. 次はあお向けになり、手も足も横へ広げましょう。今日は元気？だったら、手も足も上げて体の前で閉じたり元に戻したりしましょう。ちょっとだけ元気？手をそのままにして、足を前へ伸ばしてそのまま上下に。楽したい？床に沿って手を上下に、足を開いたり閉じたりしましょう。
 4. 最後に、立った状態から膝を伸ばしたまま、手を床につけます。バランスをとりながら、交互に足を上げて後ろへ伸ばします。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？ 次回のポ一会： 6月10日 Zoom会議 18:00~

- 6.13 「ポーポキ友情物語活動 in 東北 2020」オンライン報告会！ 14:00~16:00 参加希望者はポーポキにメールしてね。リンクを送ります。
- 7.11 ポーポキ@子どもの里！午前中の予定。
- 8.9 核問題を話し合うスカイプ！日本・アメリカ・グアム！
- 9.13 灘チャレンジ！10:00~16:00@都賀川公園。ポーポキは模擬店、展示を開催する予定。



* コロナウイルス感染拡大を避けるため、延期・中止となる場合もあります。近くになりましたら、ご確認ください！

ポーポキの友だちからのおすすめの絵本

『りょうくんのすすむみち—学校に行けない君たちへ—』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
大槌町 『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会、ほか。2019.7。

Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバー<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまど⑤(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カテイング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

高月 渚

今年3月、神戸大学大学院を晴れて卒業することができました。大学院で過ごした2年間では、授業や論文のみならず、ポーポキ・ピース・プロジェクトから学んだことがたくさんありました。活動の中では楽しいことや嬉しいことばかりではなく、大変なこと、悲しかったこともありました。それでも、ポーポキ・ピース・プロジェクトに関わって本当によかったと心から感じています。

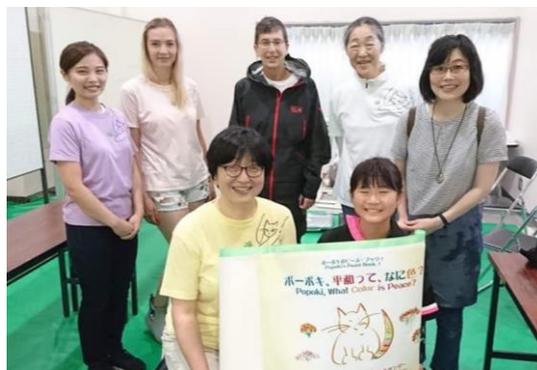
ポーポキ・ピース・プロジェクトの中で得た一番の宝物は、皆さまからお聞きしたたくさんの方の素敵な「物語」です。この2年間、東北をはじめとして、今まで行ったことのない場所にたくさん行かせて頂きました。そこでは、読み聞かせやお絵かきを通して、多くの方々に会い、皆さまの物語をお聞きすることができました。私は幼い頃から絵を描くことが大の苦手で、当初、ポーポキでの活動には少し抵抗がありました。しかし、お絵かきを通して、時には温かく、時には面白く、時には悲しい色んな物語を、皆さまからお聞きすることができ、「ただのお絵かき」にこんなにも大きな力があるんだということを徐々に感じていきました。特に、2回目の東北訪問の際、家族と離れ離れに暮らしているお母さんから「お絵かきをして優しい気持ちになった」という言葉をお聞きした時、ポーポキ・ピース・プロジェクトで自分が少しでも誰かの幸せに関われた実感、そしてその嬉しさを感じることができました。

冒頭でも述べたように、活動の中では大変なこともありました。特に1回目の東北訪問では、ポーポキに対する自分の意志が弱く、周りの方々に迷惑をかけてしまうこともありました。「なんでこの活動をやっているんだろう？」と悩むこともありましたが、2回目の東北訪問で読み聞かせとお絵かき活動が大成功に終わった時、「あー、ポーポキやってよかったな！」と思いました。見返りを求めずに誰かのために頑張ることの素晴らしさを教えてくれたのは、ポーポキであり、そして私の恩師であるろにゃんです。

ポーポキ・ピース・プロジェクトを通して関わった全ての方々にこの場を借りて感謝申し上げます。ポーポキで学んだことを胸に、新天地でも精進して参りたいと思います。皆さまとの繋がりが今後も続くよう、心からお祈りしております。



初めての東北。本当に寒かった！



2019年の灘チャレンジ。江刺さんとの再会に感動！

ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!